

JESCOホールディングス株式会社 [1434・東証スタンダード]



I 2024年8月期 第2四半期 連結決算概要

II 2024年8月期 通期予想

III 資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応

IV 成長戦略&トピックス

I . 2024年8月期 第2四半期 連結決算概要

◆ 2024年8月期 第2四半期 実績

実績

前年同期比

売上高 : 58億48百万円

0.7%

営業利益 : 89百万円

▲72.0%

- 国内EPC事業では、注力分野である自家消費型太陽光発電設備工事や無線通信インフラ関連設備工事が順調に推移いたしました。この結果、増収となりましたが、前期には高収益案件があったことから減益となりました。
- アセアンEPC事業では、エンジニアリング部門において、技術力強化及び技術員の増員等が新規顧客の獲得に寄与し、設計積算は順調に推移しましたが、建設部門において、ベトナムにおける規制強化等が引き続き建設業に影響を与えており、中断している工事の再開時期の遅れや貸倒引当金の計上により減収減益となりました。

※EPC = Engineering(設計), Procurement(調達), Construction(建設)の略

(百万円)	2023年8月期 第2四半期累計 実績 金額	2024年8月期 第2四半期累計 実績 金額	前年同期比 増減		備考
			金額	率	
売上高	5,807	5,848	+40	+0.7%	国内EPC+902M アセアンEPC△878M
売上総利益	907	946	+38	+4.2%	
販売費及び一般管理費	588	856	+268	+45.6%	アセアンEPC 貸倒引当金追加計上+157M
営業利益	319	89	△229	△72.0%	貸倒引当金等の販管費増加
経常利益	346	102	△244	△70.5%	同上
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	679	521	△158	△23.3%	固定資産売却益△196M 投資有価証券売却益+82M
ROA (総資産経常利益率)	2.7%	0.6%	-	-	

セグメント別状況

(百万円)	2023年8月期 第2四半期累計 実績 金額	2024年8月期 第2四半期累計 実績 金額	前年同期比 増減		備考
			金額	率	
売上高	5,807	5,848	+40	+0.7%	
国内EPC	4,247	5,149	+902	+21.3%	公共設備+987M
アセアンEPC	1,462	583	△878	△60.1%	工事の再開時期の遅延
不動産 (CRE)	254	195	△58	△23.1%	
調整額	△ 155	△ 80	+75	-	

(百万円)	2023年8月期 第2四半期累計 実績 金額	2024年8月期 第2四半期累計 実績 金額	前年同期比 増減		備考
			金額	率	
営業利益	319	89	△229	△72.0%	
国内EPC	413	373	△39	△9.6%	前期高収益案件
アセアンEPC	5	△ 245	△250	-	- 貸倒引当金の追加計上
不動産 (CRE)	104	18	△86	+82.7%	
調整額	△ 204	△ 57	+146	-	

連結貸借対照表概要

(百万円)	2023年8月期末		2024年8月期 第2四半期末		前期末比 増減 金額	主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	9,447	56.3%	11,659	64.4%	+2,211	受取手形・完成工事未収入金等+294M 未成工事支出金+383M 販売用不動産+1,506M
固定資産	7,319	43.6%	6,444	35.6%	△874	建物及び構築物△260M 土地△816M
資産合計	16,771	100.0%	18,103	100.0%	+1,332	販売用不動産取得による流動資産の増加 高田馬場ビル売却による固定資産の減少
流動負債	5,004	29.8%	6,822	37.7%	+1,817	支払手形・工事未払金等+649M 短期借入金+1,255M
固定負債	5,238	31.2%	4,608	25.5%	△630	社債△185M 長期借入金△394M
負債合計	10,243	61.1%	11,430	63.1%	+1,187	
純資産合計	6,528	38.9%	6,673	36.9%	+145	
負債純資産合計	16,771	100.0%	18,103	100.0%	+1,332	

連結キャッシュ・フロー計算書概要

(百万円)	2023年8月期 第2四半期累計 実績 金額	2024年8月期 第2四半期累計 実績 金額	前年同期比 増減 金額	備考
営業キャッシュ・フロー	△ 181	△ 1,945	△ 1,764	販売用不動産の増加△1,539M
投資キャッシュ・フロー	2,533	1,712	△ 821	固定資産の売却による収入△1,569M 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出+407M 投資有価証券の売却による収入+434M
財務キャッシュ・フロー	△ 1,765	362	+ 2,127	借入金の返済の減少
現金及び現金同等物の 換算差額	△ 21	△ 11	+ 9	
現金及び現金同等物の 増減額	565	117	△ 447	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,122	2,401	+ 279	

Ⅱ. 2024年8月期 通期予想

連結損益計算書概要（半期・通期）

(百万円)	2023年8月期				2024年8月期				前期比増減	
	上期 実績 金額	下期 実績 金額	通期 実績 金額	構成比	上期 実績 金額	下期 予想 金額	通期 予想 金額	構成比	金額	率
売上高	5,807	5,296	11,104	100.0%	5,848	8,151	14,000	100.0%	+2,895	+26.1%
売上総利益	907	823	1,731	15.6%	946	1,293	2,240	16.0%	+508	+29.4%
販売費及び一般管理費	588	717	1,305	11.8%	856	263	1,120	8.0%	△185	△14.2%
営業利益	319	106	425	3.8%	89	1,030	1,120	8.0%	+694	+163.3%
経常利益	346	159	505	4.6%	102	987	1,090	7.8%	+584	+115.5%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	679	502	1,182	10.6%	521	678	1,200	8.6%	+17	+1.5%
受注高	4,913	8,393	13,306	-	8,017	8,087	16,104	-	+2,798	+21.0%
受注残高	4,270	7,295	7,295	-	9,463	9,400	9,400	-	+2,105	+28.9%

セグメント別業績概要（半期・通期）

(百万円)	2023年8月期				2024年8月期				前期比増減	
	上期実績金額	下期実績金額	通期実績金額	通期実績構成比	上期実績金額	下期予想金額	通期予想金額	通期予想構成比	金額	率
売上高	5,807	5,296	11,104	100.0%	5,848	8,151	14,000	100.0%	+2,895	+26.1%
国内EPC	4,247	4,514	8,762	78.9%	5,149	5,408	10,557	75.4%	+1,795	+20.5%
アセアンEPC	1,462	749	2,211	19.9%	583	949	1,533	11.0%	△678	△30.7%
不動産（CRE）	254	149	403	3.6%	195	1,895	2,090	14.9%	+1,686	+417.7%
調整額	△155	△117	△272	-	△80	△101	△181	-	+91	-

(百万円)	2023年8月期				2024年8月期				前期比増減	
	上期実績金額	下期実績金額	通期実績金額	通期実績利益率	上期実績金額	下期予想金額	通期予想金額	通期予想利益率	金額	率
営業利益	319	106	425	3.8%	89	1,030	1,120	8.0%	+694	+163.3%
国内EPC	413	315	729	8.3%	373	371	745	7.1%	+15	+2.2%
アセアンEPC	5	△65	△59	-2.7%	△245	270	25	1.7%	+85	-
不動産（CRE）	104	30	134	33.3%	18	420	438	21.0%	+303	+225.4%
調整額	△204	△175	△379	-	△57	△31	△89	-	+290	-

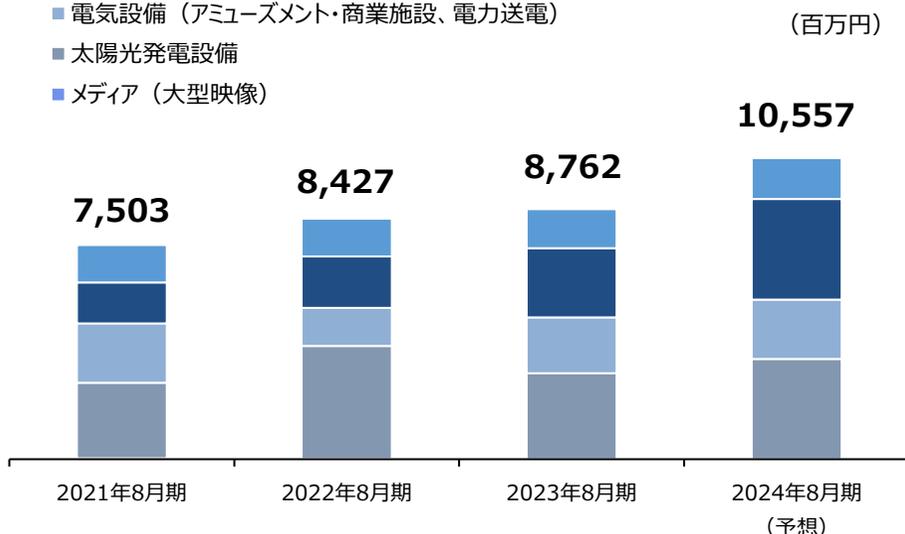
※売上高は、セグメント間取引消去前の数値です。

国内EPC事業：事業領域別売上高の推移

◆ 5G等の移動体通信工事、監視カメラ等の公共設備、官公庁工事等で受注拡大、収益向上に寄与

(百万円)	2021年8月期		2022年8月期		2023年8月期		2024年8月期(予想)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
通信設備 (移動体通信)	507	1,304	556	1,319	540	1,373	682	1,433
公共設備 (ETC、防災無線、監視カメラ)	636	1,435	756	1,800	642	2,425	1,629	3,528
電気設備 (アミューズメント・商業施設、電力送電)	832	2,080	677	1,335	934	1,954	1,493	2,081
太陽光発電設備	1,569	2,656	1,630	3,961	2,131	3,009	1,345	3,513
メディア (大型映像)	0	25	0	9	-	-	-	-
合計	3,545	7,503	3,620	8,427	4,247	8,762	5,149	10,557

- 通信設備 (移動体通信)
- 公共設備 (ETC、防災無線、監視カメラ)
- 電気設備 (アミューズメント・商業施設、電力送電)
- 太陽光発電設備
- メディア (大型映像)



▲高速自動車道ETC設備工事



▲防災行政無線工事



▲高速道路CCTV設備工事



▲架空送電線関連工事



▲太陽光発電設備工事

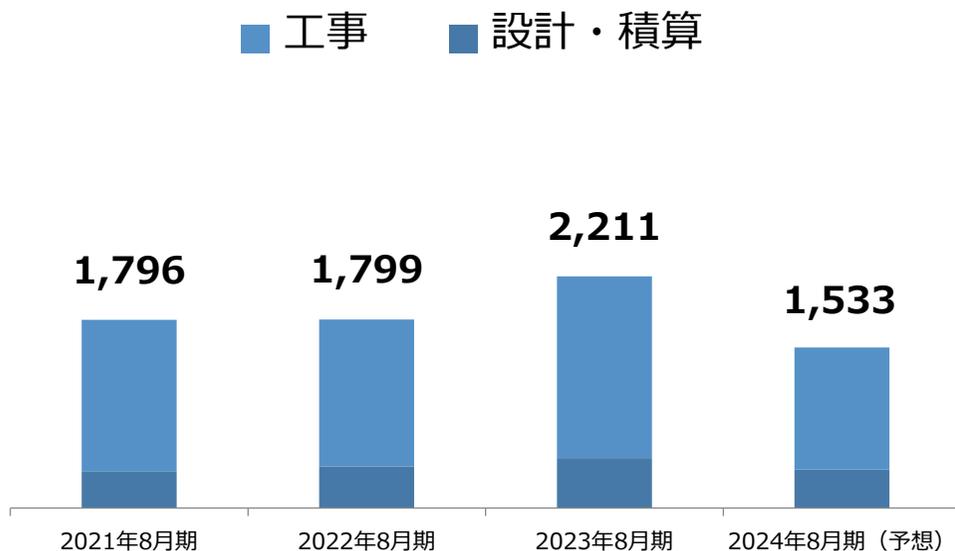


▲ハツ場ダム 電気設備・通信設備工事

(注) 数値はセグメント間取引消去前

- ◆ 設計積算部門では、DX推進による国内設計部門との一体化により増収を見込むものの、工事部門では、中断している工事の再開時期の遅れにより減収見込み。

(百万円)	2021年8月期		2022年8月期		2023年8月期		2024年8月期(予想)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
設計・積算	183	349	195	396	194	475	242	527
工事	736	1,447	588	1,403	1,267	1,736	342	1,006
合計	920	1,796	784	1,799	1,462	2,211	583	1,533



▲タンソンニャット国際空港
(電気設備工事の施工管理)



▲ノイバイ国際空港第2ターミナルビル
(電気設計・施工管理・電気設備工事)



▲ベトナムホーチミン屋根置き自家消費太陽光発電



▲ホーチミン フローラミズキプロジェクト
(電気設備、空調、給排水、防火設備)

(注) 数値はセグメント間取引消去前 ※単位 百万円

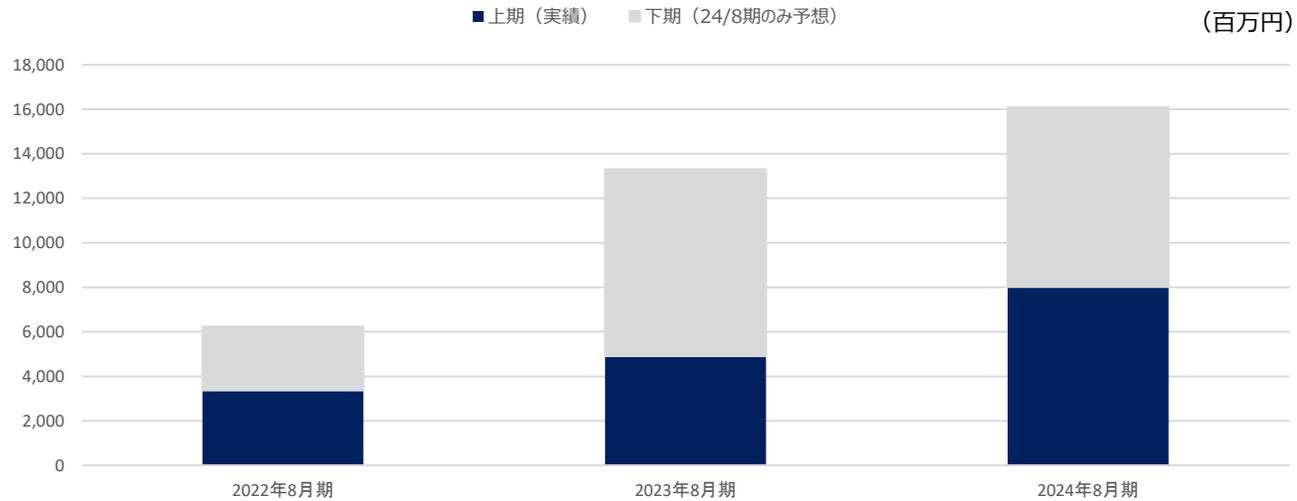
連結受注高・受注残高概要（上期・通期）

(百万円)	2022年8月期			2023年8月期			2024年8月期		
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 予想	通期 予想
受注高	3,370	2,865	6,235	4,913	8,393	13,306	8,017	8,087	16,104
国内EPC	2,870	2,590	5,461	3,588	7,870	11,458	7,448	4,817	12,265
アセアンEPC	445	174	619	1,070	494	1,564	393	1,445	1,838
不動産（CRE）	141	189	330	254	30	284	176	1,824	2,000

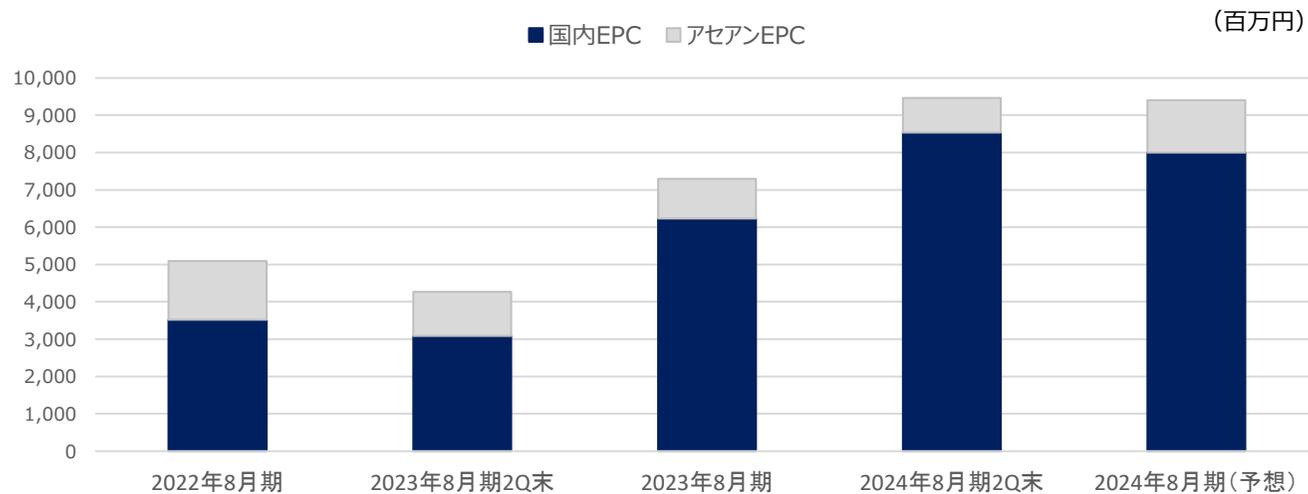
(百万円)	2022年8月期			2023年8月期			2024年8月期		
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 予想	通期 予想
受注残高	11,372	5,092	5,092	4,270	7,295	7,295	9,463	9,400	9,400
国内EPC	5,735	3,520	3,520	3,090	6,234	6,234	8,532	8,000	8,000
アセアンEPC	5,636	1,572	1,572	1,180	1,061	1,061	931	1,400	1,400
不動産（CRE）	-	-	-	-	-	-	-	-	-

連結受注高・受注残高の推移（上期実績・通期予想）

連結受注高の推移



連結受注残高の推移

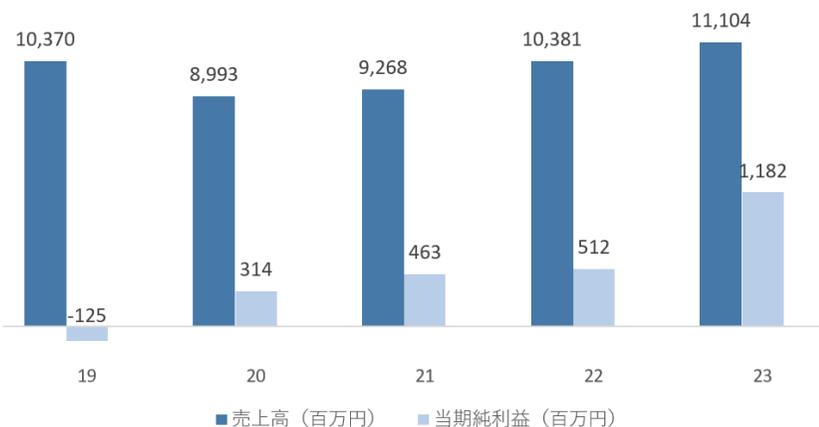


Ⅲ. 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
2. 2024年8月期 配当予想
3. 両利きの経営

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

売上高と当期純利益 (百万円)



取組み方針

- ①中核であるEPC事業の収益性向上
- ②不動産事業収益の平準化
- ③政策保有株式売却による資本効率の向上
- ④株主還元の充実およびIR活動の強化

により、株主資本コストを超える**ROE10%以上を継続的に確保し、PBRの向上**を図ってまいります。

PBR (倍)



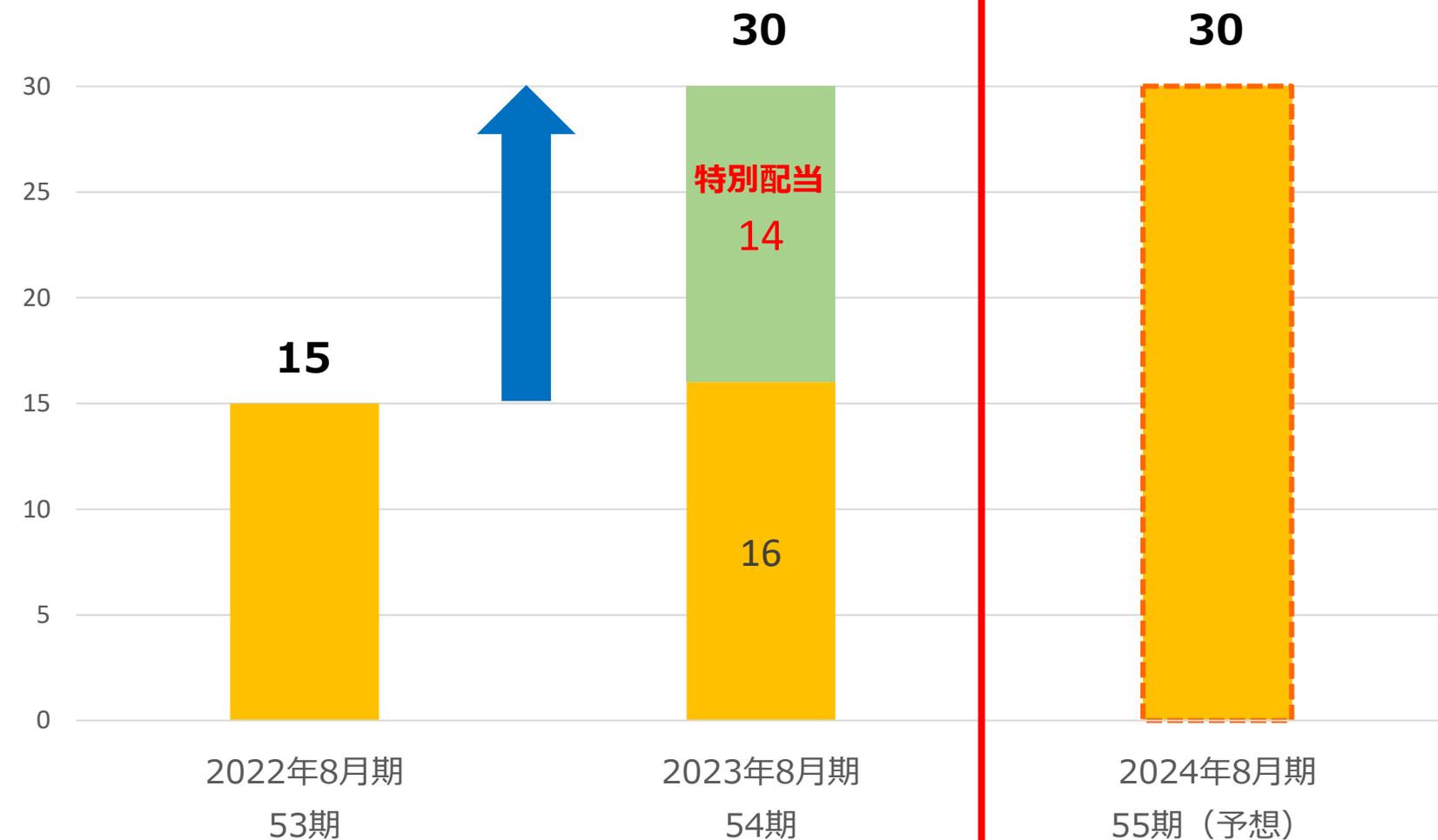
ROE (%)



2. 2024年8月期 配当予想

配当

(円)



3. 両利きの経営

EPC事業

国内EPC事業

- 再生可能エネルギー
- 無線通信インフラ関連設備
- 移動体通信関連設備



アセアンEPC事業

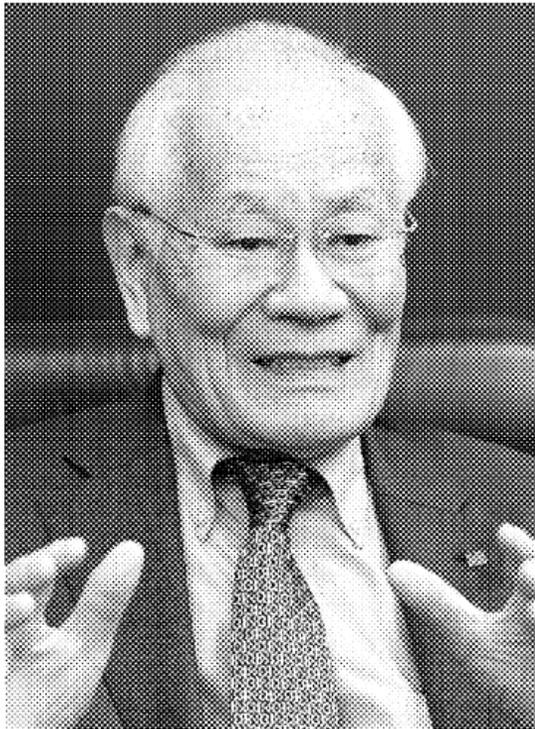
- エンジニアリング
- 国際空港電気設備
- 電気・空調衛生・消防設備



不動産[CRE]事業



日刊工業新聞「書窓」掲載



J E S C O HD会長兼社長 **まつもと としひろ** 俊洋氏

今の私を支える『両利きの経営』



経営判断に勇気をもろう

人生の節目ごとに、企業経営の道標となる一冊に出会ってきた。20代で起業し、事業を軌道に乗せることに奮闘していた時代は松下幸之助氏に関する作品に多く触れ、経営理念やその根底にある考えに深く共感した。それから半世紀余り。今の私を後押しする一冊はビジネスパーソンからの支持を得てベストセラーになったチャールズ・オライリー著『両利きの経営』だ。

人を節目に、企業面し、これまで下してきたさまざまな経営判断が肯定され、勇気を与えられ、さらには理論的に裏付けてくれるように感じられるからだ。

同書の読者の多くはこれの中で掲唱される経営理論を自身の経営改革の原動力として実践することを目指すだろう。しかし、私の受け止めは、やや異なる。企業成長の局面や事業環境の変化に直

イノベーションの時代には、既存事業を「深化」し収益力や競争力をより強固にする経営と、新たな成長機会を「探索」しビジネスとして確立する経営の双方が求められる。これを「両利き」と称する。私自身、こうしたアプローチを意識し始めたのは売上高の100億円超えが射程に入った頃。電気設備や通信設備を中心に培ってきたエンジニアリング力には自信がある。海外市場でも実績を積み重ねてきた。だが、成長スピードを鈍化させることなく収益力を高め、社員や株主に還元するには、産業構造が異なる事業の確立が必要と痛感した。具現化したのが不動産事業だ。ノウハウ蓄積の過程では苦い経験もあったが、それも生きている。

細やかな心配り
海外を飛び回る松本氏にとって機内は貴重なひととき。読書だけでなく、社員一人ひとりに贈る誕生日メッセージの作成にも時間を充てる。米

組織文化に関する考察も新鮮だった。国内外問わず企業のM&A（合併・買収）を積極的に進めており、相乗効果の発揮が課題の一つだからだ。日本企業も多くは文化を戦略的につくり込んでおらず、これを成長力に転嫁する組織能力の変容には経営トップが深く関与するべきとの指摘は示唆に富む。

家族のな雰囲気や大切に
する当社の良き企業風土は守りつつ、さらなる
変革に挑みたい。

余滴……スタンフォード流の合理的な経営理論に「気づき」を見いだす感性と社員の一体感を引き出す細やかな心配り。そんな姿にも「両利き」がうかがえる。
(編集委員・神崎明子)

「書窓」は、経営者をはじめ各界で活躍する人が影響を受けた一冊をはじめ、本にまつわる出会いや思い出を紹介する連載企画です。

IV. 成長戦略&トピックス

1. 注力領域と成長戦略

- ①M&A ②国内EPC ③アセアンEPC
- ④CRE（不動産） ⑤人材紹介・人材派遣

2. サステナビリティ活動

1. 注力領域と成長戦略 ①M&A

M&A 戦略的なM&Aによる事業基盤の強化



- ・国内外ネットワークの整備・拡充
- ・技術者、資格保有者の確保

海外 ・ 2022年6月 PEICO JSC (ベトナム) を子会社化 **海外従業員数 計426名**

国内 ・ 2022年9月 阿久澤電機(株)を完全子会社化 **1級電気工事施工管理技士 計105名**
・ 2023年3月 マグナ通信工業(株)を子会社化 **1級電気通信工事施工管理技士 計54名**



さらなるM&Aの推進

1. 注力領域と成長戦略 ①M&A

M&A

ハノイ近郊のPEICO社をM&Aし、さらなるEPC事業拡大

2022年6月 JESCO PEICO ENGINEERING JSC.設立

順調に推移

JESCO CNS VN社 : Engineering (設計) 事業
JESCO PEICO社 : Construction (建設) 事業

統合

日系企業へのシェア拡大へ
海外企業へも拡大

主要顧客

日系企業からの受注
約70~80%

- 株式会社キヤノン
- 株式会社大林組
- コベルコ (神鋼環境エンジニアリング株式会社)
- 高砂熱学工業株式会社
- 新菱冷熱株式会社



日系企業チラー (冷却水循環装置) 配管工事、機械電気工事

1. 注力領域と成長戦略 ①M&A

受注案件

JESCO PEICO ENGINEERING JSC

ベトナム宇宙センター LOTUSat-1 電気通信工事受注

事業概要

円借款により地球観測衛星の開発・利用に必要な関連施設の調達・整備等を行うもので、ベトナムにおける減災に寄与することを目的としています。

受注内容

- 受注先：NEC Vietnam Co., Ltd
- 工事名称：LOTUSat-1
- 工事内容：ベトナム宇宙センターでの、
電源・光・LANケーブル配線及び
接続工事
- 工事場所：ベトナム宇宙センター（ハノイ）
- 工期：2023年12月～2024年9月（予定）



完成イメージ図

1. 注力領域と成長戦略 ①M&A

受注案件

JESCO PEICO ENGINEERING JSC

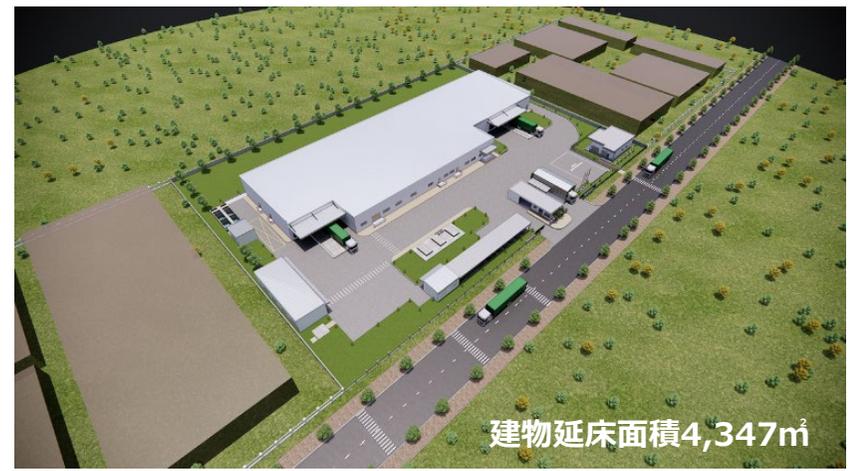
欧州企業 養鶏場 電気設備工事

事業概要

ハノイ市に隣接し、市内から約35kmの場所に位置するビンフック省ビンスエン工業団地の養鶏場新設工事。
孵化能力20,800,000羽/年に相当する生産工場となる予定

受注内容

- 所有者・・・BDH VIETNAM LLC
(ベルギーのBelgabroedグループとオランダのDe Heusグループにより設立)
- 工事名称 BDH VIETNAM LLC
-養鶏場Binh Phuc Branch
- 工事内容 生産工場内電気設備工事、機械設備工事
- 工事場所 ビンフック省ビンスエン工業団地
- 稼働時期 2025年4月 (予定)



完成イメージ図

1. 注力領域と成長戦略 ①M&A

M&A 北関東No.1をめざして EPC事業拡大

2022年9月 阿久澤電機株式会社を完全子会社化

2023年4月 JESCO AKUZAWA株式会社に商号変更

期待効果

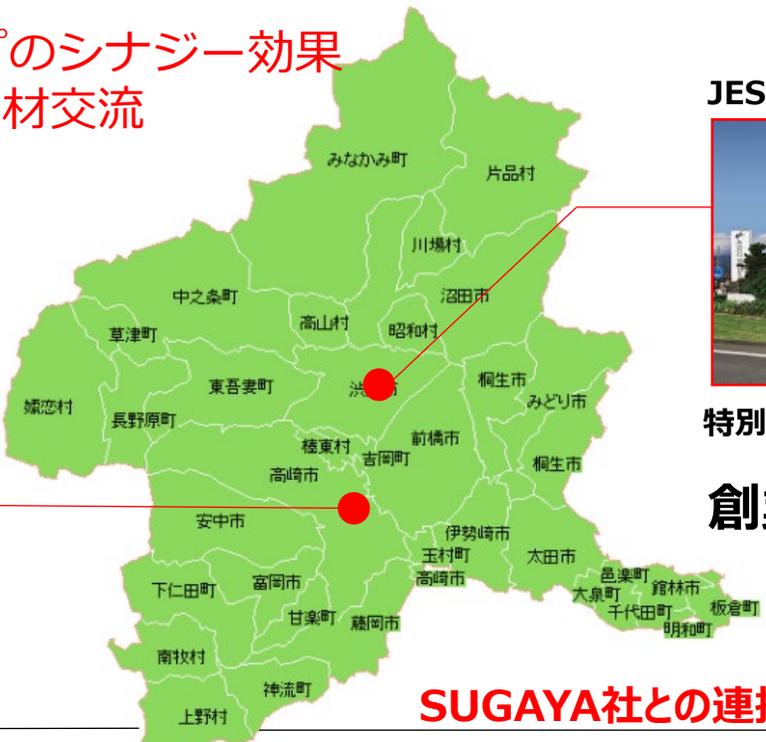
- ・ JESCOグループのシナジー効果
- ・ 海外も含めた人材交流

JESCO AKUZAWA株式会社



電気・通信設備に強み

創業100年超



JESCO SUGAYA株式会社



特別高圧・送配電に強み

創業70年超

SUGAYA社との連携により事業拡大推進中

●事業内容

- ・ 電気工事・電気通信工事の設計・施工、給排水衛生
- ・ 空調設備の設計・施工、防犯カメラの賃貸借 他

●顧客

- 官公庁 群馬県、高崎市、国交省、総務省
- 民間企業 日本化薬株式会社、協和キリン株式会社、キリンエンジニアリング他

1. 注力領域と成長戦略 ①M&A

新設計画

JESCO AKUZAWA株式会社

- ◆ **JESCOグループ防災拠点新設計画（AKUZAWA社新社屋）**
 首都直下地震災害時のBCP（Business Continuity Plan）対策
 国内グループ会社社員および協力会社 計500名分の災害用備蓄品保管
 災害発生時には、対策本部とする他、避難所、復旧活動の拠点として活用
- ◆ **SDGs対応 ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）認定申請中**
 太陽光発電や省エネ設備により、一次エネルギー消費正味ゼロを目標

概要

所在地：群馬県高崎市問屋町二丁目4番地6
 敷地面積：1529.15㎡
 （内 駐車場約1000㎡ 駐車台数28台）
 延床面積：1146.18㎡
 構造：鉄骨造、地上3階建
 太陽光発電量：6万kWh（年間）



1. 注力領域と成長戦略 ①M&A

M&A

情報通信分野での事業成長加速

2023年3月 マグナ通信工業株式会社を子会社化

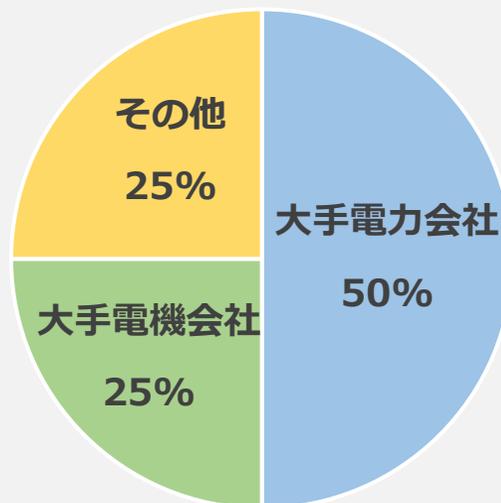
期待
効果

- ・ 原子力発電所や情報通信分野での事業拡大
- ・ 人的資本強化 1級電気工事施工管理技士**40名**
1級電気通信工事施工管理技士**30名**

JESCO社とのグループシナジー取組中

主要顧客割合

大手電力会社、
大手電機メーカー主体



創業以来約60年にわたり原子力・火力・水力発電所等プラント向け**工業用ITV（工業用監視設備）**、**指令通話システム（ページング装置）**等の企画から設計・製造・施工・メンテナンスまでワンストップソリューションサービスを実施

工業用ITV（工業用監視設備）



指令通話システム（ページング装置）

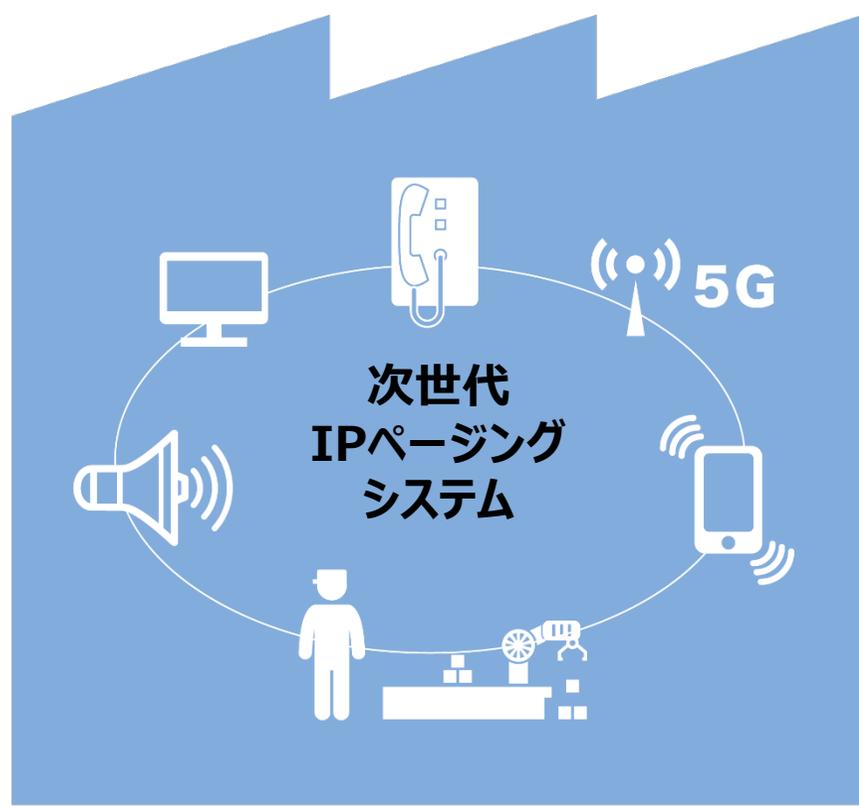


1. 注力領域と成長戦略 ①M&A

システム開発

情報通信分野での事業成長加速

マグナ通信工業株式会社次世代IPページングシステムの開発



5G回線とスマホアプリ活用



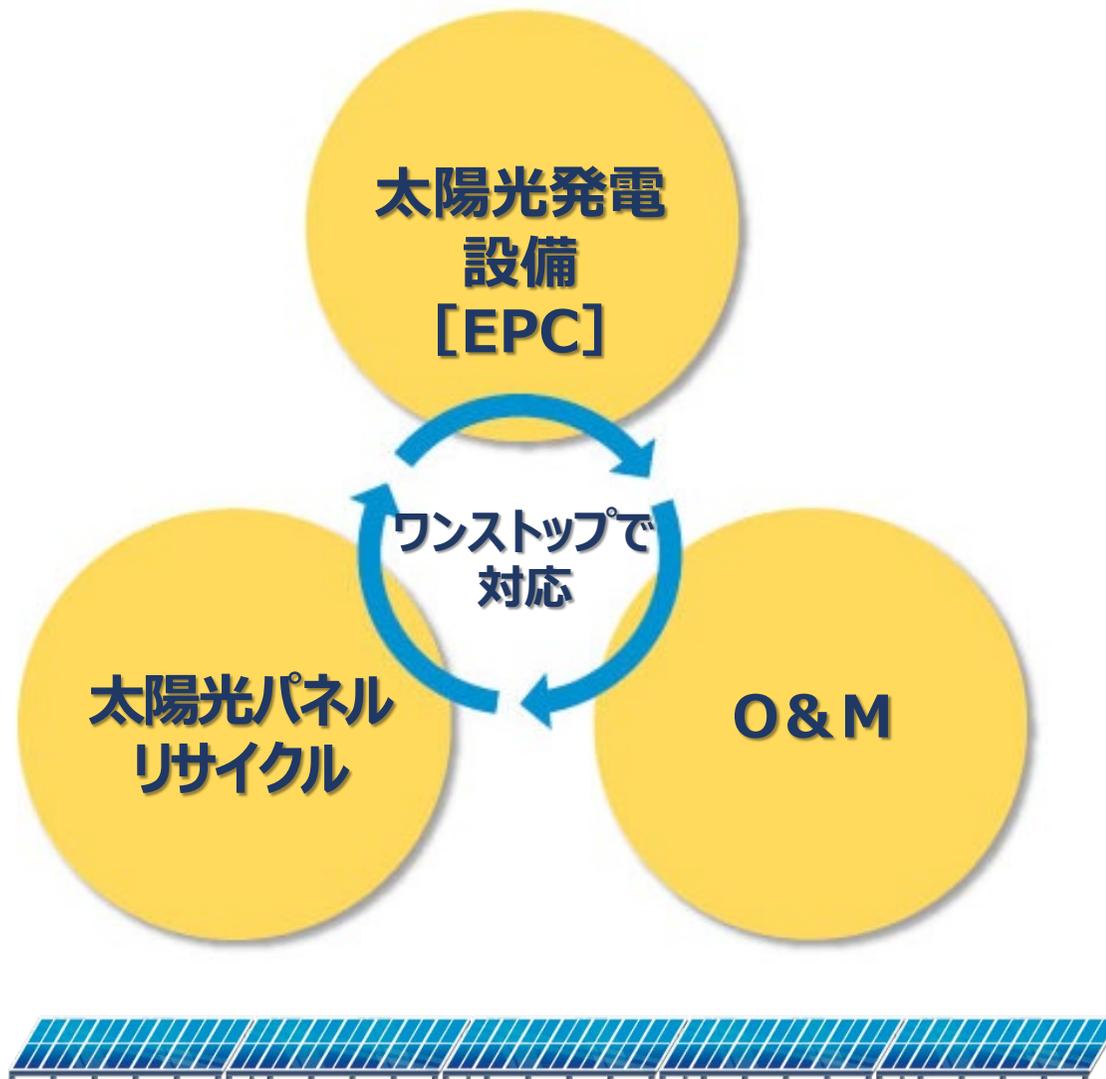
- ① 別拠点等、遠隔地からの指令が可能
- ② IPスピーカーへの接続可能
- ③ 業務が大きく改善

※IP : Internet Protocol

1. 注力領域と成長戦略 ②国内EPC

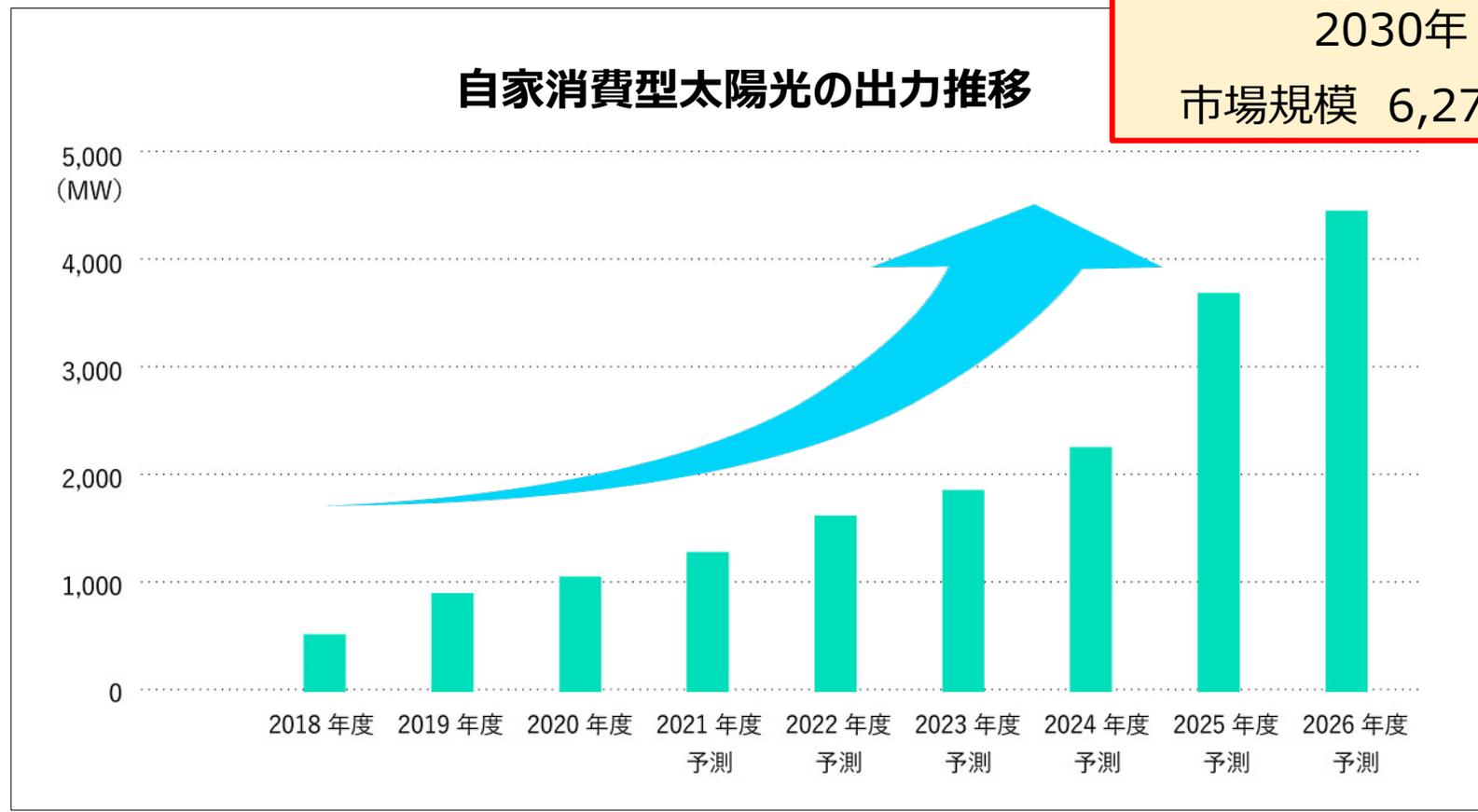


再生可能エネルギー



1. 注力領域と成長戦略 ②国内EPC

再生可能エネルギー事業の展望



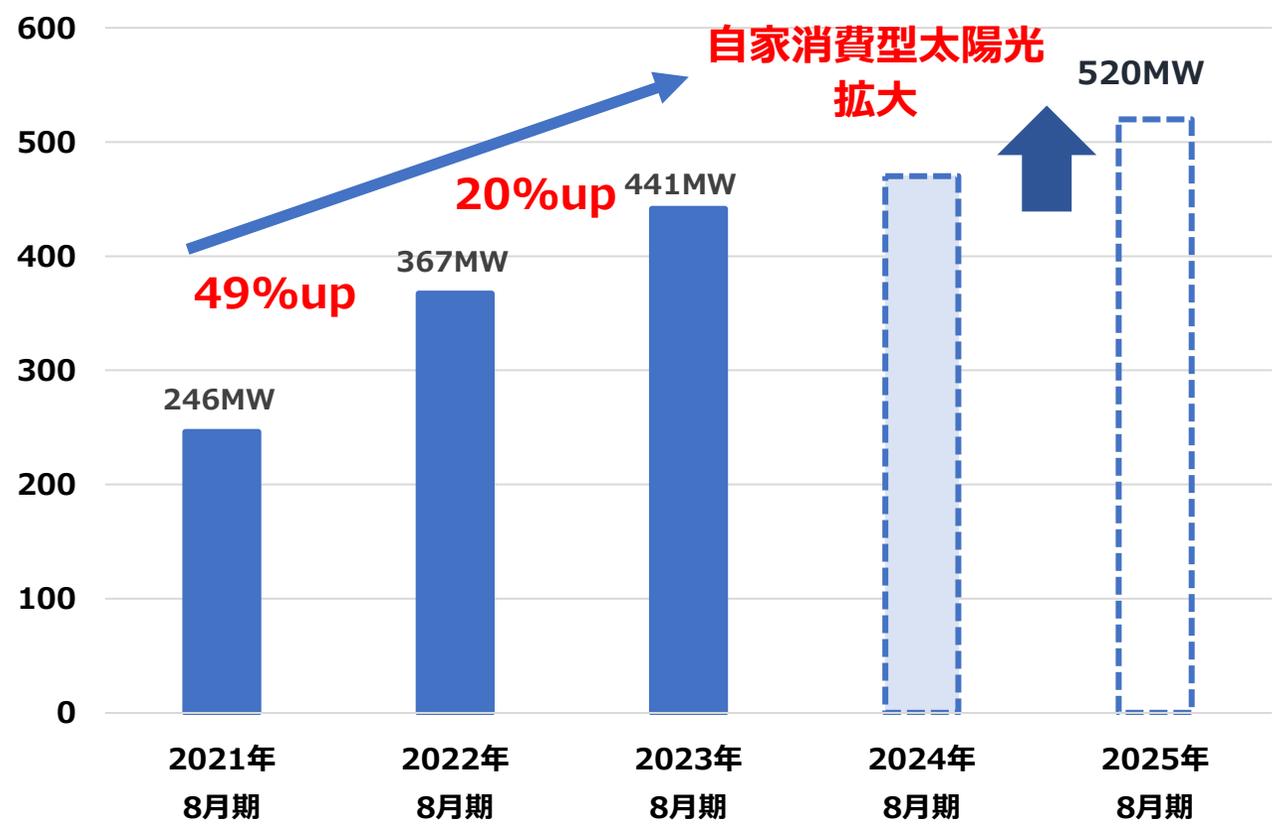
出典：日経BP「メガソーラービジネス」サイト 2021/12/23富士経済調査結果より
https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/news/00001/02245/?SS=imgview_msb&FD=1766720347

1.注力領域と成長戦略 ②国内EPC

再生可能エネルギー（太陽光発電設備）

発電容量
(MW)

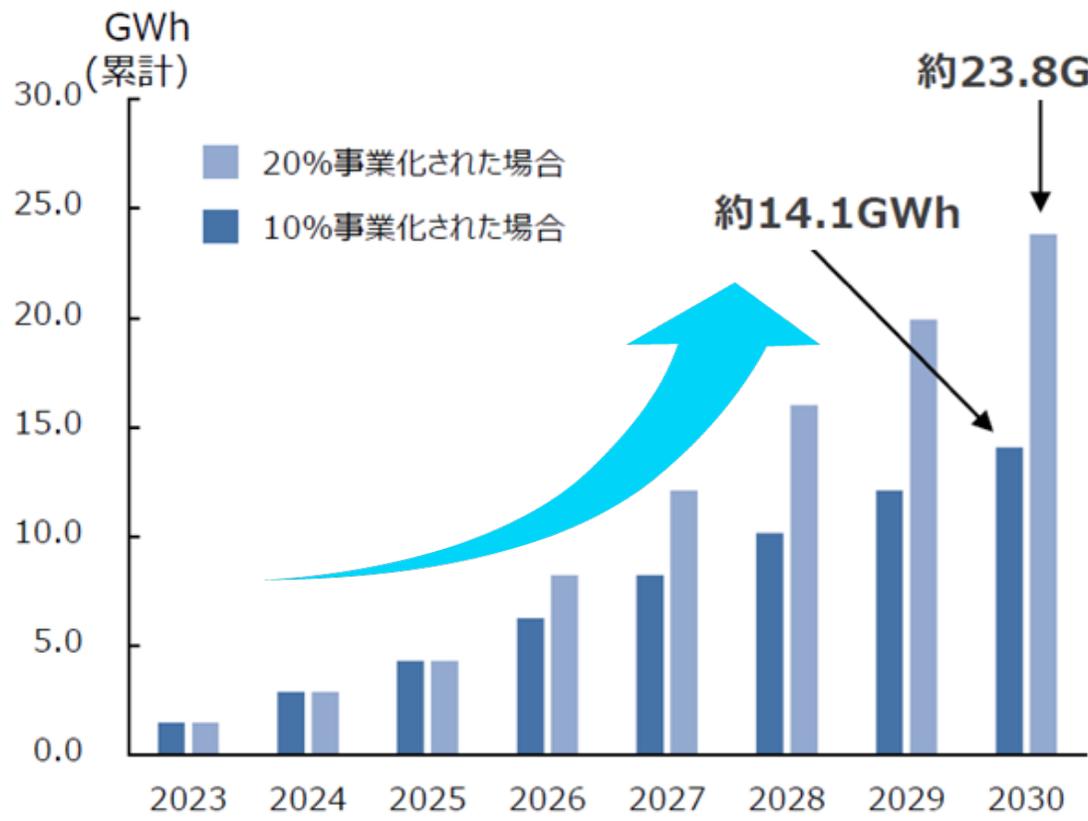
太陽光発電設備 施工実績（発電容量累計）



1.注力領域と成長戦略 ②国内EPC

再生可能エネルギー（系統用蓄電池）の展望

系統用蓄電池の導入見通し（日本国内）

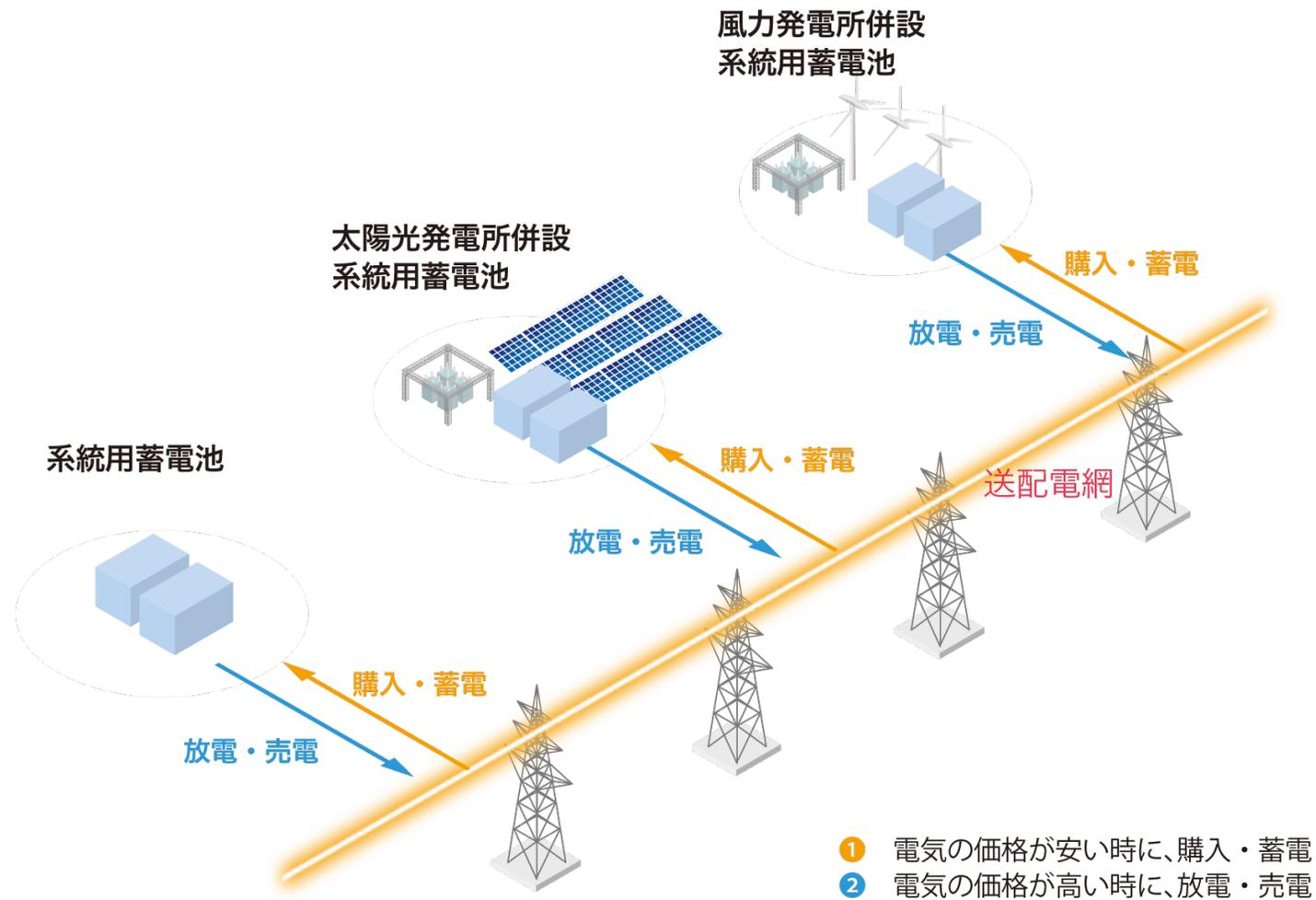


※GWh=1,000,000KWh

出典：内閣府GX実行会議 投資戦略資料より

1. 注力領域と成長戦略 ②国内EPC

各種システム用蓄電池（イメージ）



1. 注力領域と成長戦略 ②国内EPC

受注案件 系統用蓄電池設置工事

①茨城県取手市（受注）

出力：1,920kW
蓄電池容量：3,840kWh
工期：2024/9～2025/2

②茨城県常総市（受注）

出力：2,000kW
蓄電池容量：4,887kWh
工期：2024/9～2025/2

③九州地方（内定）

出力：2,000kW
蓄電池容量：8,000kWh



1. 注力領域と成長戦略 ②国内EPC



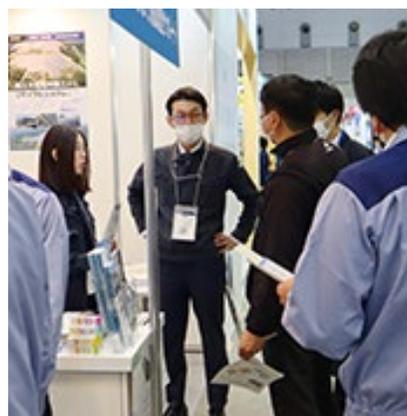
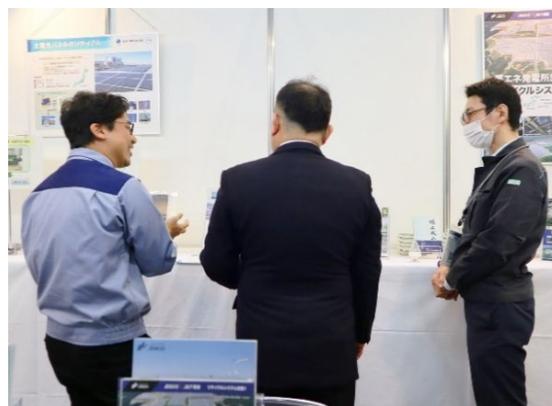
第21回SMART ENERGY WEEK PV EXPO 太陽光発電展出展

昨年業務提携を締結したJFEグループの“J&T環境株式会社”と共同出展

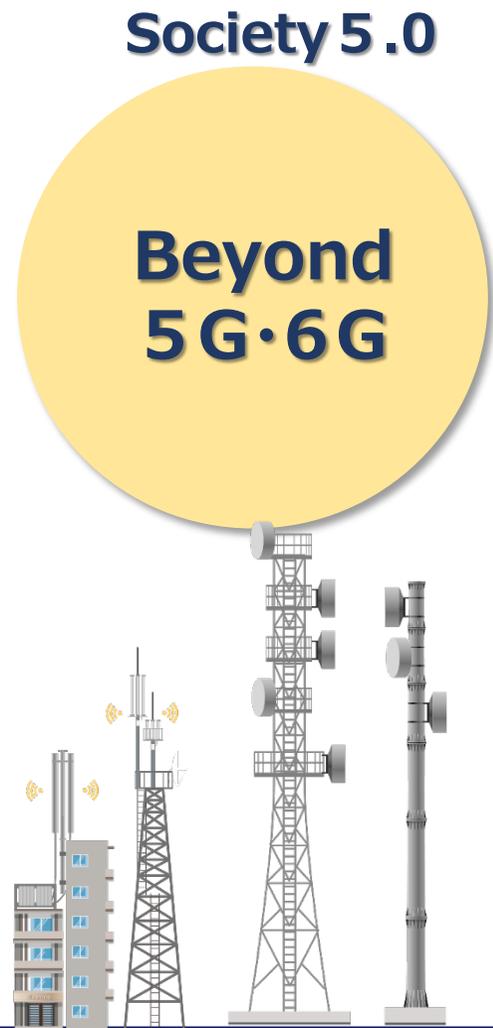
出展期間：2024年2月28～3月1日



東京ビッグサイト



無線通信インフラ関連設備



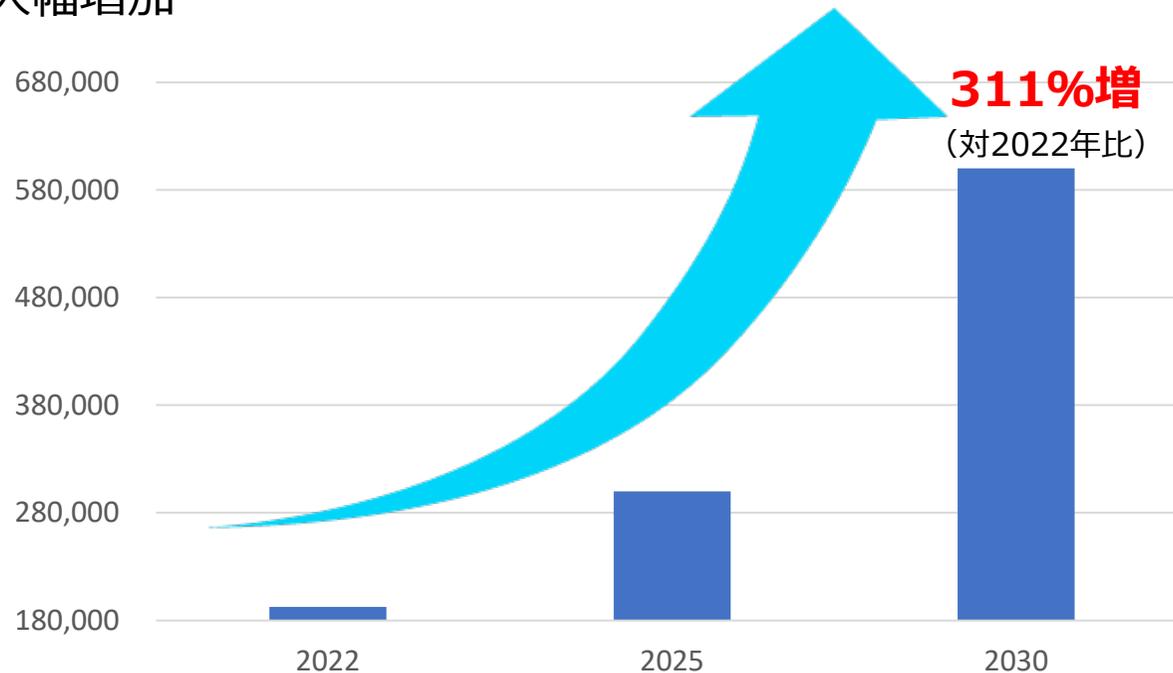
1. 注力領域と成長戦略 ②国内EPC

5Gインフラ整備事業の展望

総務省 デジタル田園都市国家インフラ整備計画 2023年4月更新

5G人口カバー率・道路カバー※率 2030年度末 99%実現へ

5G基地局数の大幅増加



※道路カバー率・・・高速道路・国道の道路延長のうち携帯電話が利用できる区間の割合

1. 注力領域と成長戦略 ②国内EPC

国土強靱化基本計画の概要

内閣官房 国土強靱化推進本部

閣議決定時の事業規模の目途

防災・減災、国土強靱化のための 5か年加速化対策

約 **15兆円**

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策 **約 12.3兆円**

2 予防保全型メンテナンスへの転換に向けた老朽化対策 **約 2.7兆円**

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進 **約 0.2兆円**

**JESCOグループで
対応可能な防災関連工事**

災害監視用
CCTV設備新設工事

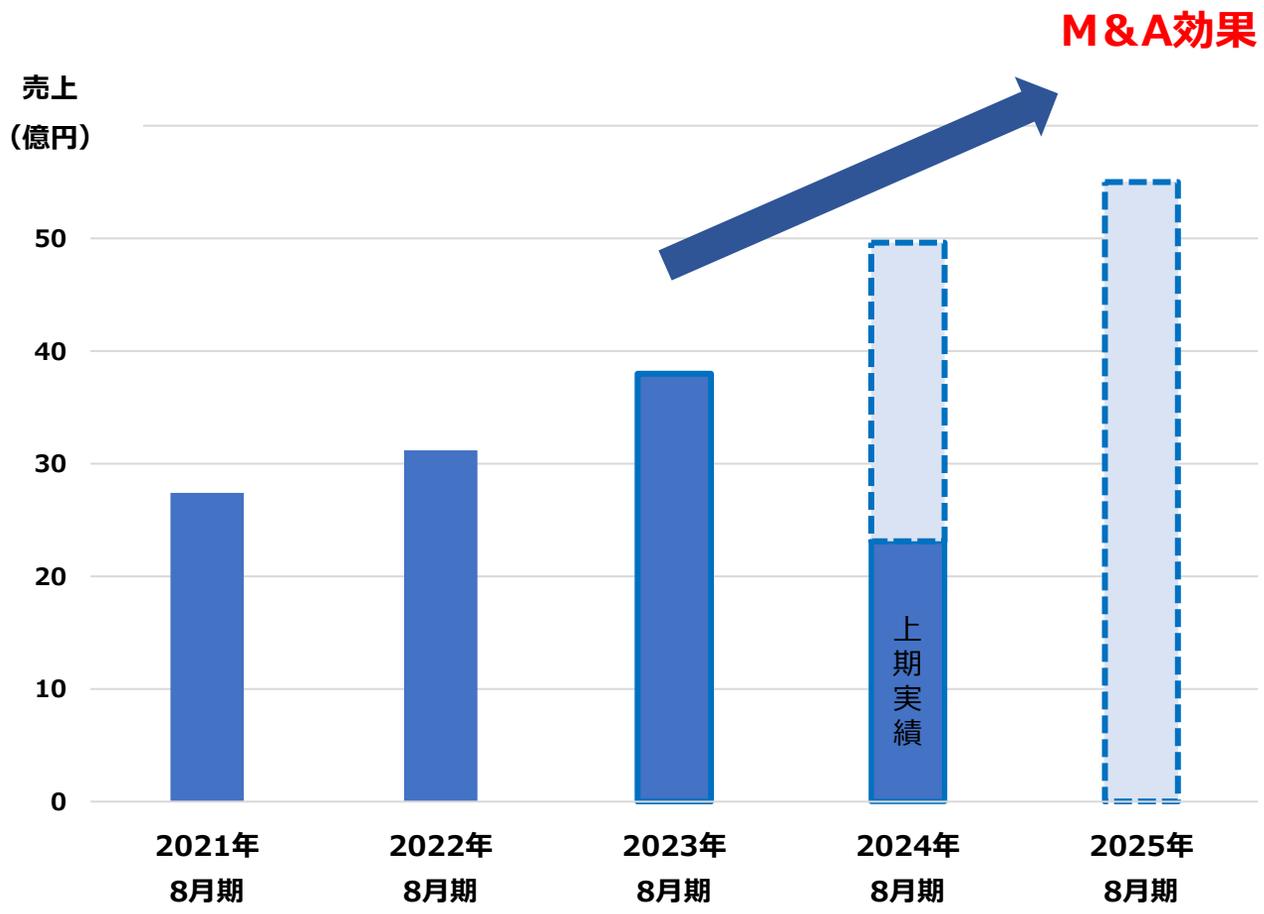
CCTV設備無停電電源工事

防災無線デジタル化工事 等

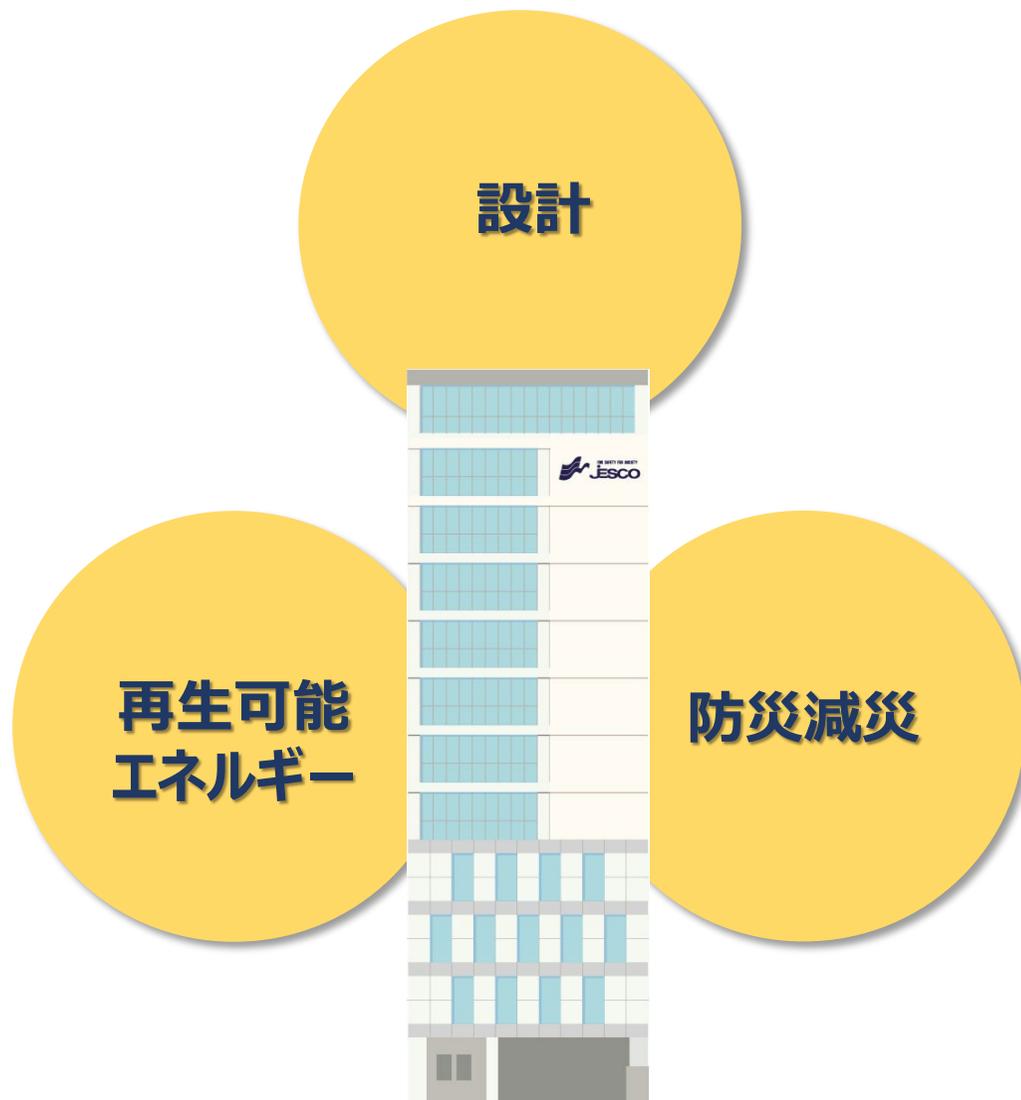
(出典:国土強靱化推進本部 国土強靱化年次計画2022の概要)

1. 注力領域と成長戦略 ②国内EPC

無線通信設備工事



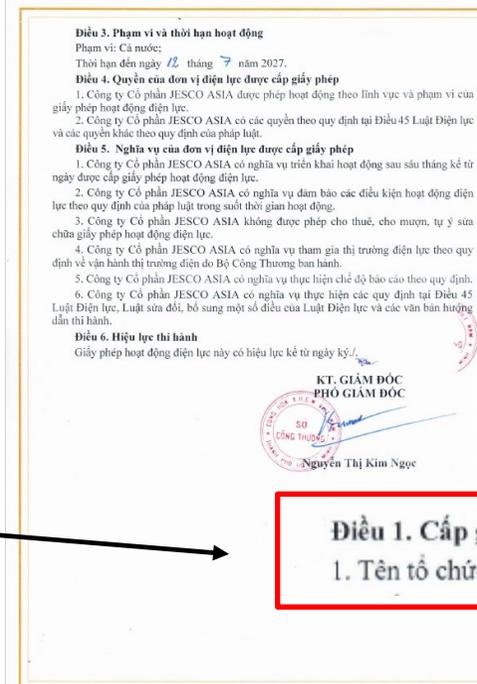
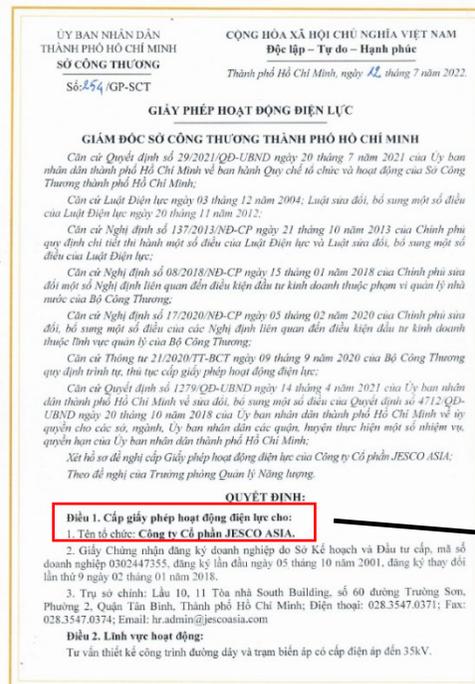
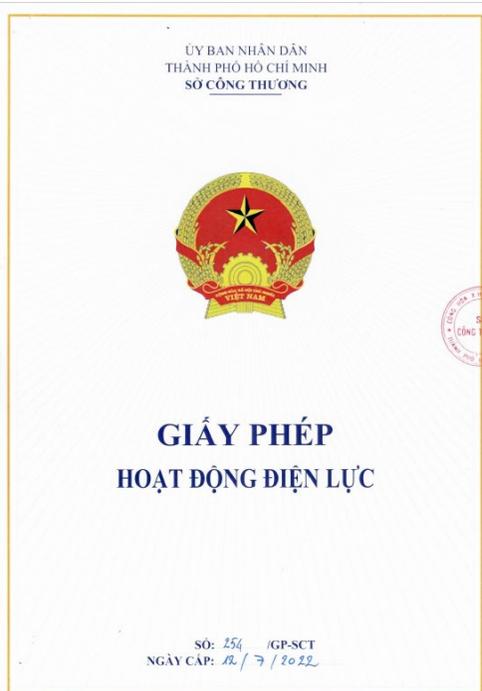
アセアンEPC エンジニアリング/ 調達／建設



1. 注力領域と成長戦略 ③アセアンEPC

ベトナム政府より特別高圧の電気設備設計企業に認定

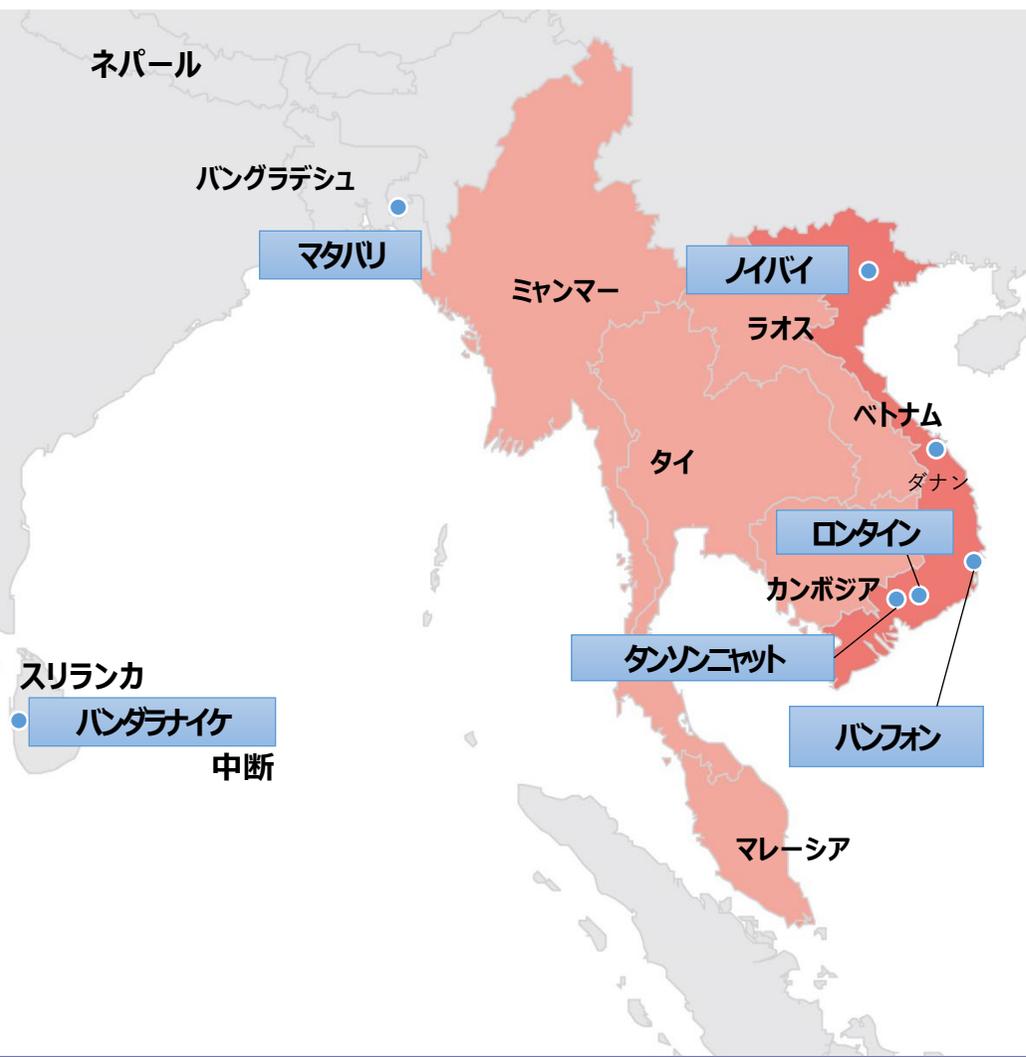
2022年12月 これまでの多くの国際空港電気設備設計の実績と資格保有技術者から、
35,000V以下の特別高圧の電気設備設計企業に認定
→国際空港の入札参加資格となり、元請けとしての受注が可能に



電気事業ライセンス発行
会社名 : JESCO ASIA JSC

1. 注力領域と成長戦略 ③アセアンEPC

ODA案件・空港案件 実績と期待案件



- ・タンソンニャット国際空港 電気設備 施工監理
 - ・ノイバイ国際空港 電気設備 設計・施工監理・電気工事
 - ・ノイバイ国際空港第2ターミナルビル拡張 電気設備
FS・詳細設計
 - ・ロンタイン国際空港 Utility 電気設備FS・基本設計
 - ・ロンタイン国際空港 電気設備詳細設計
 - ・バンフォン高効率火力発電所 120万KW 調達 (ベトナム)
 - ・マタバリ高効率火力発電所 120万kw (バングラデシュ)
電気計装設計・調達
- 完工済**

- ↓
- 現在進行中** **実績+信頼**
- ・ロンタイン国際空港 (第1期) カーゴ ターミナルビル、
電気設備詳細設計 (ベトナム)
 - ・ロンタイン国際空港 (第1期) ターミナルビル
電気設備・ICT施工監理 (ベトナム)

- ↓
- 期待案件**
- ・ロンタイン国際空港 (第2期) Utility他 電気設備
FS業務 (ベトナム)
 - ・その他ロンタイン国際空港 (第2,3期) プロジェクト案件

1. 注力領域と成長戦略 ③アセアンEPC

Web技術（スマートグラス）を活用したリアルタイム設計&検査



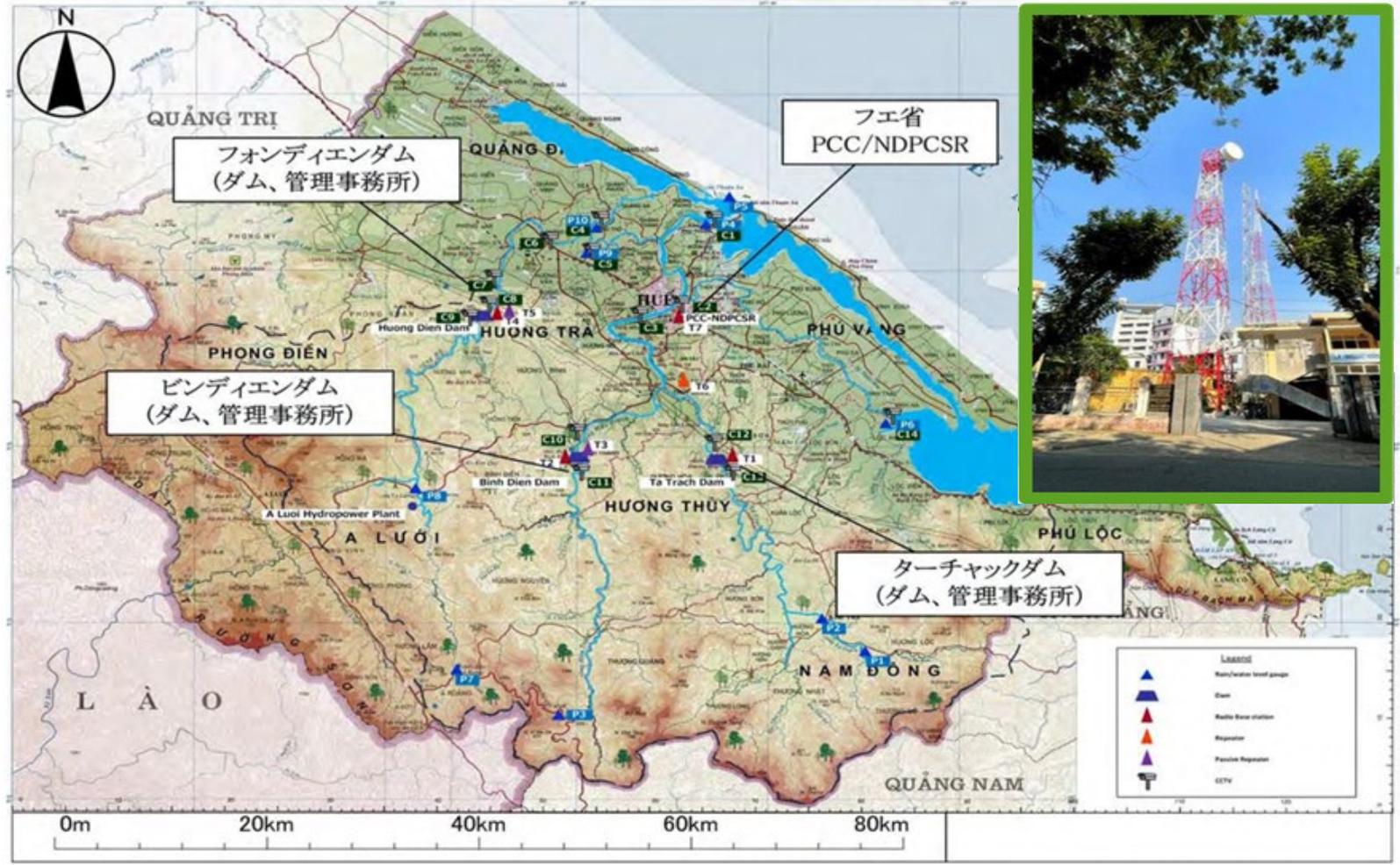
スマートグラス使用効果
2021年9月より実施

🇯🇵 事前準備～現地調査～図面作成 **業務効率 42%アップ** 
🇻🇳 現場状況の把握、理解度向上 **作図ミス 70%削減**

1. 注力領域と成長戦略 ③アセアンEPC

河川防災無線 ODAインフラ工事

<ベトナム フェ省 防災関連工事プロジェクト> フェ省フォン川流域 (2021年9月完工)



1. 注力領域と成長戦略 ③ アセアンEPC



太陽光発電システム工事

【エースコックベトナム工場】

JESCO ASIA社初となる太陽光発電システム
工事案件

工事期間：2020年6月～10月

概 要：560kw（自家消費型&余剰売電型）



ACECOOK ベトナム工場

【CLK COLD STORAGEベトナム工場】

工場屋上の太陽光発電システム
工事案件

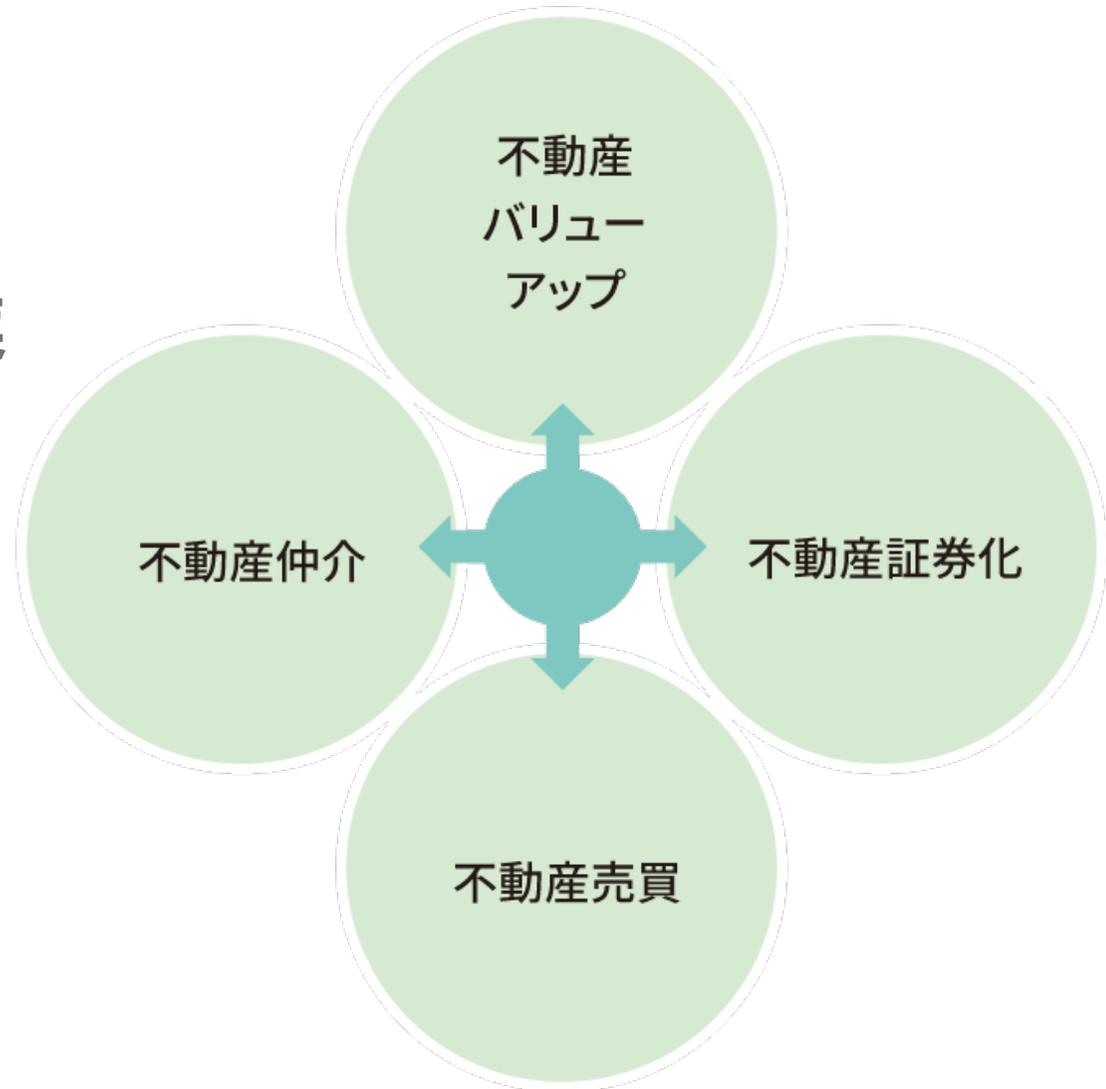
工事期間：2021年6月～11月

概 要：屋上太陽光設備 250kw



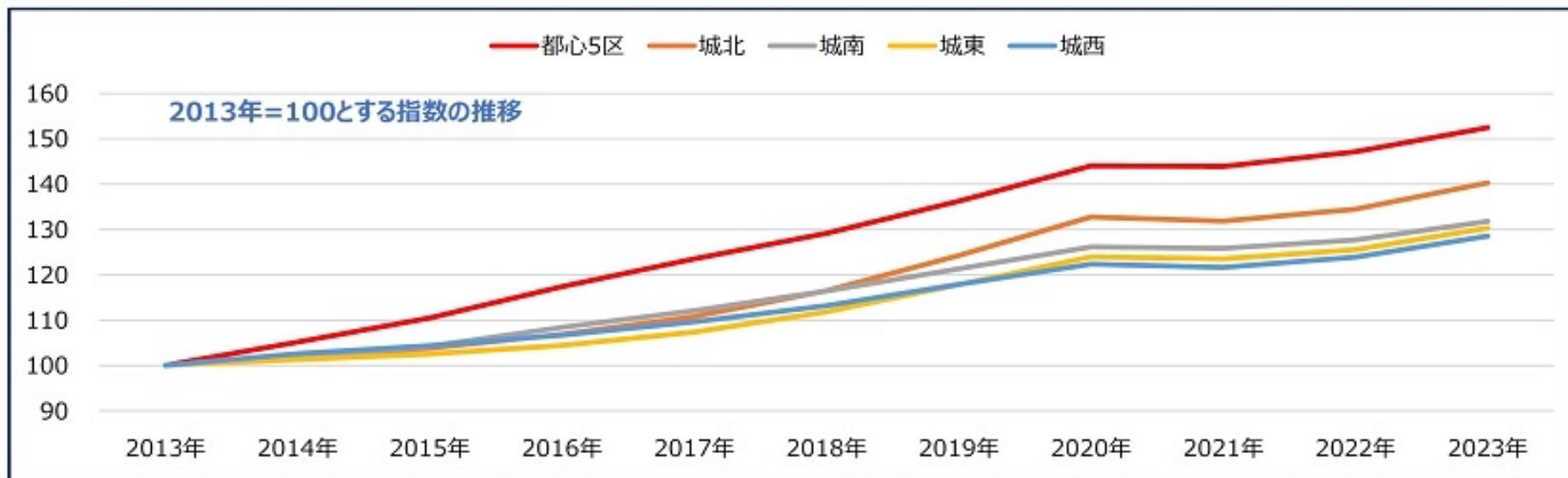
CLK COLD STORAGE ベトナム工場

CRE（不動産）事業



東京23区の公示地価動向

都市部を中心に上昇継続、特に「都心5区」が顕著



<エリア区分>

都心5区：千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区

城北：文京区、豊島区、北区、板橋区

城南：品川区、目黒区、大田区、世田谷区

城東：台東区、墨田区、江東区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区

城西：中野区、杉並区、練馬区

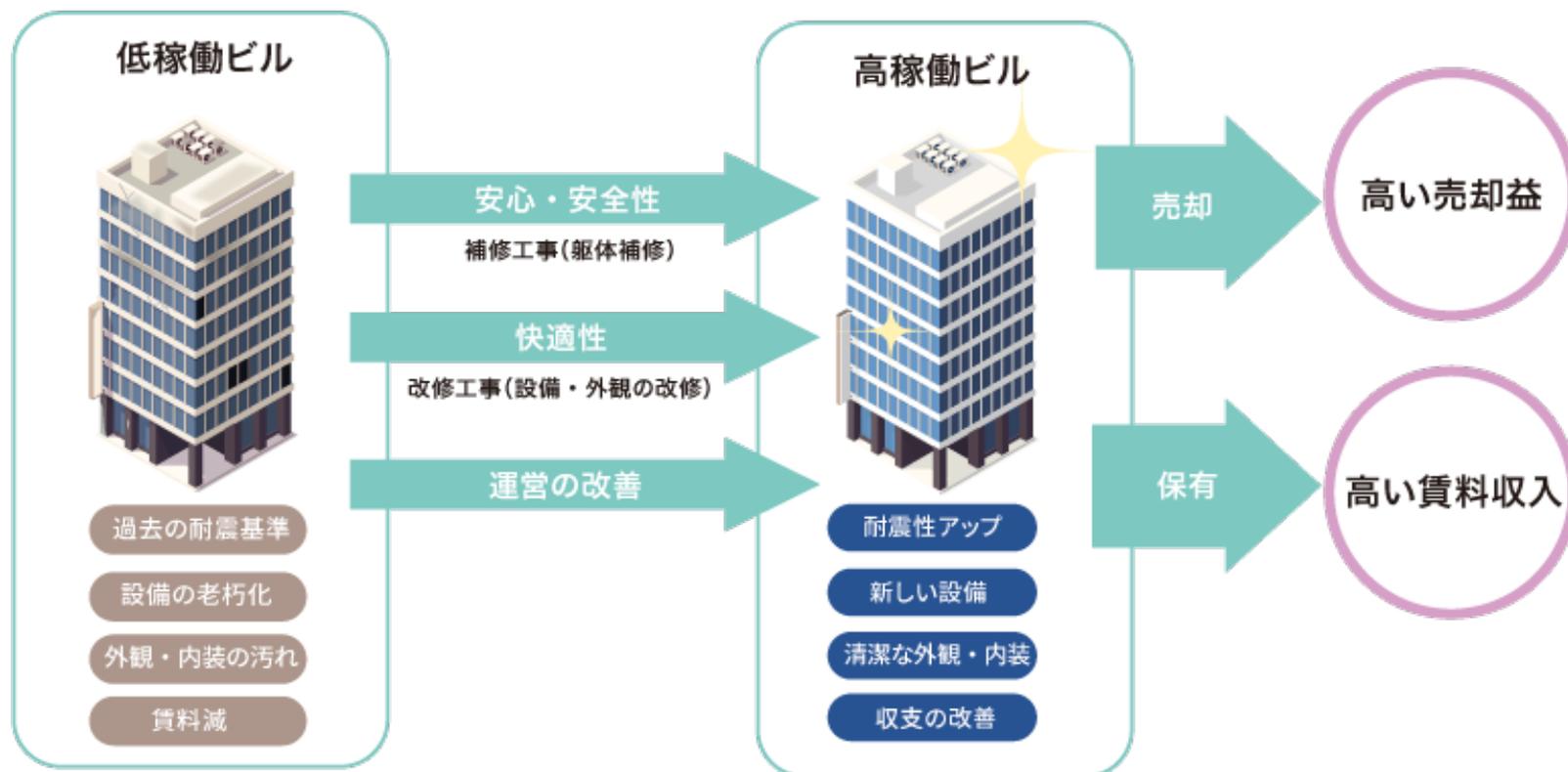
出典：国土交通省土地鑑定委員会「地価公示」より野村不動産ソリューションズ作成

1. 注力領域と成長戦略 ④CRE（不動産）事業

「両利きの経営」を支える新たな事業

不動産バリューアップや不動産売買、不動産証券化、不動産仲介等、
高い収益性を維持しながら街づくりに貢献

【不動産バリューアップ】



1. 注力領域と成長戦略 ④CRE（不動産）事業



JESCO新中野ビル



JESCO赤坂表町ビル



新宿レックスハイツ（神楽坂）



JESCO目黒ビル

「環建築設計事務所」とのコンサルティング契約締結

2024年2月 コンサルティング契約締結

取得不動産の遵法性や安全性について、よりの確な判断での売買へ

【環建築設計事務所】

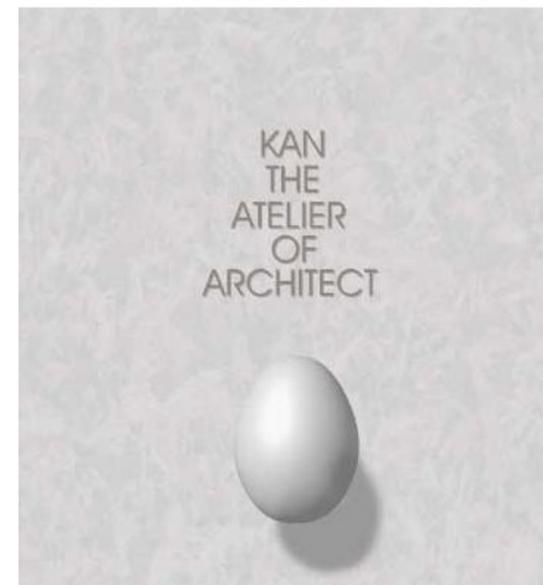
1975年に活動を開始し、環境や建築は人の心と深く関わっているため、「自身が人生を楽しみ、夢を描くことが出来なければ、人々の夢をかなえることなどあり得ない」という信念のもと、多岐にわたるジャンルの環境計画や建築計画に 取り組み、快適で心地よい環境や建築の提案を通じた社会貢献を行っています。

所在地：東京都新宿区新宿 1-9-1

代表：秋山寿郎

設立：1975年12月

登録：一級建築士事務所



人材紹介・人材派遣事業

国内外の建設業界の技術者不足に貢献



人材育成から紹介まで、建設業界の人材不足への貢献を目指す

高い日本語力を持つ優れた外国人人材

人材教育における幅広いチャネルを生かし、高い日本語力とコミュニケーション能力を持つ外国人人材を育成・紹介しています。



人材確保のネットワーク

JESCOグループが電気設備工事の海外進出から得たネットワークにより、海外の大学や送出国、日本で提携の日本語学校、専門学校などを通し各分野で即戦力となる人材を紹介しています。



2. サステナビリティ活動（事業外での活動）



2. サステナビリティ活動

① なかのSDGsパートナー登録

2024年1月 第1期なかのSDGsパートナーに登録



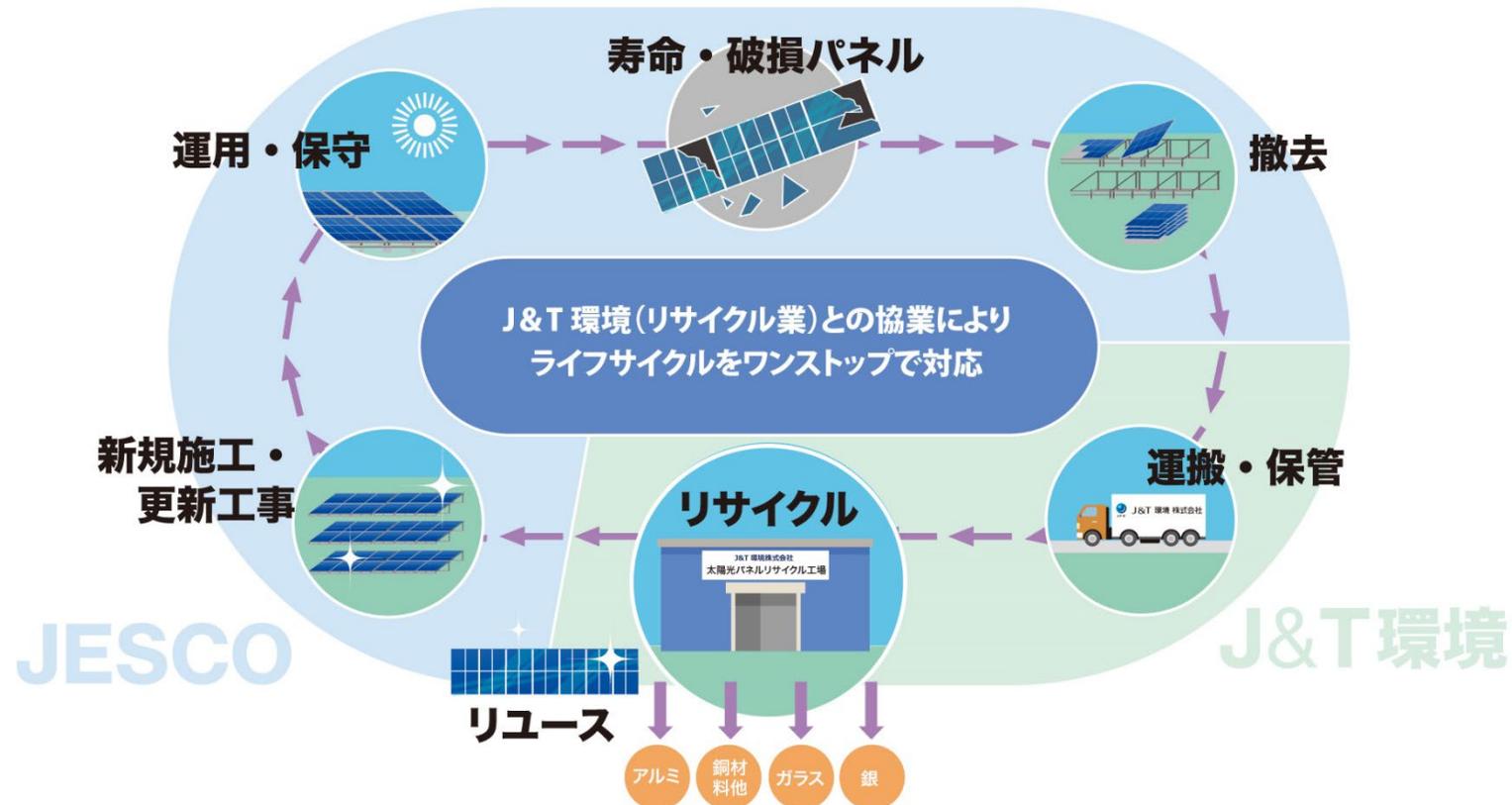
東京都中野区やSDGsパートナー企業との連携により、地域の課題解決やSDGsの推進に取り組んでまいります。

2. サステナビリティ活動～脱炭素社会実現に向けて～

②循環型社会への貢献

2023年2月 J&T環境(株)との業務提携締結

※JFEグループ及び、東京電力・中部電力のグループ会社である株式会社JERAが
出資するリサイクル企業



2. サステナビリティ活動～脱炭素社会実現に向けて～

③カーボンニュートラル

JESCO那智勝浦の保安林（16.7ha）

社会・環境貢献緑地評価システム SEGES※ 2022年8月「Excellent Stage2」に認定

評価ポイント：都市に立地する企業が環境や地域への社会貢献活動として緑地管理に取り組んでいる。
CO2固定機能、水源涵養機能、景観形成機能等、
森林の存在機能を十分に発揮している。



⇒ **2024年 維持審査合格**
生物多様性や地域社会への貢献など取組み強化により、
2025年Stage up(Excellent Stage3)を目指す

※SEGES : Social and Environmental Green Evaluation System

公益財団法人都市緑化機構が、企業等によって創出された良好な緑地や取組を評価し、社会・環境に貢献している、良好に維持されている緑地であることを認定する制度。

2. サステナビリティ活動～脱炭素社会実現に向けて～

③カーボンニュートラル

生物多様性や山林の健全化などネイチャーポジティブアプローチを展開

＜JESCO那智勝浦保安林での取り組み＞

①生態系監視カメラの設置 2023/9～



二ホンカモシカ



センサーカメラ

＜観測状況＞

サル	14件
シカ	11件
二ホンカモシカ	4件
	絶滅危惧種
イノシシ	2件



②杉の苗木の生育



(順調に成長中)

2. サステナビリティ活動～脱炭素社会実現に向けて～

③カーボンニュートラル

森林の保有によりCO2削減に貢献

保有林 スギ・ヒノキ 7万本

→年間約420トンCO2吸収 (当社算定※)

那智の滝保安林	16.7ha
奈良県吉野郡①	4.6ha
奈良県吉野郡②	5.8ha
奈良県吉野郡③	3.9ha
長野県蓼科 研修センター	1ha
静岡県伊東市川奈 ゲストハウス	1ha
計	33ha

**国内CO2全排出量カバーに向け、
保有林 17ha (CO2吸収量220トン相当)
追加取得目標**

さらなる森林取得を計画中

トン/年



※CO2算定方法および数値は林野庁、日本国温室効果ガスインベントリ報告書より

2. サステナビリティ活動～脱炭素社会実現に向けて～

④再生エネルギーへの転換

2021年4月20日 再エネ100宣言 RE Action協議会に参画

2050年までに使用電力(年間48万kWh)の100%を再エネ化

■ 自社調達



使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。



JESCO AKUZAWA社新社屋はZEB※化(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を目指しています

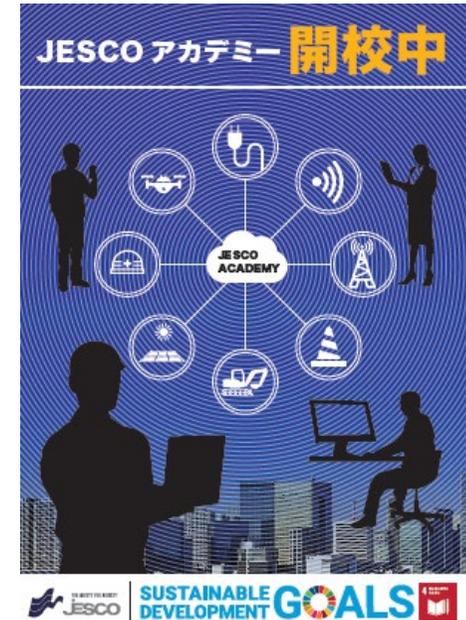
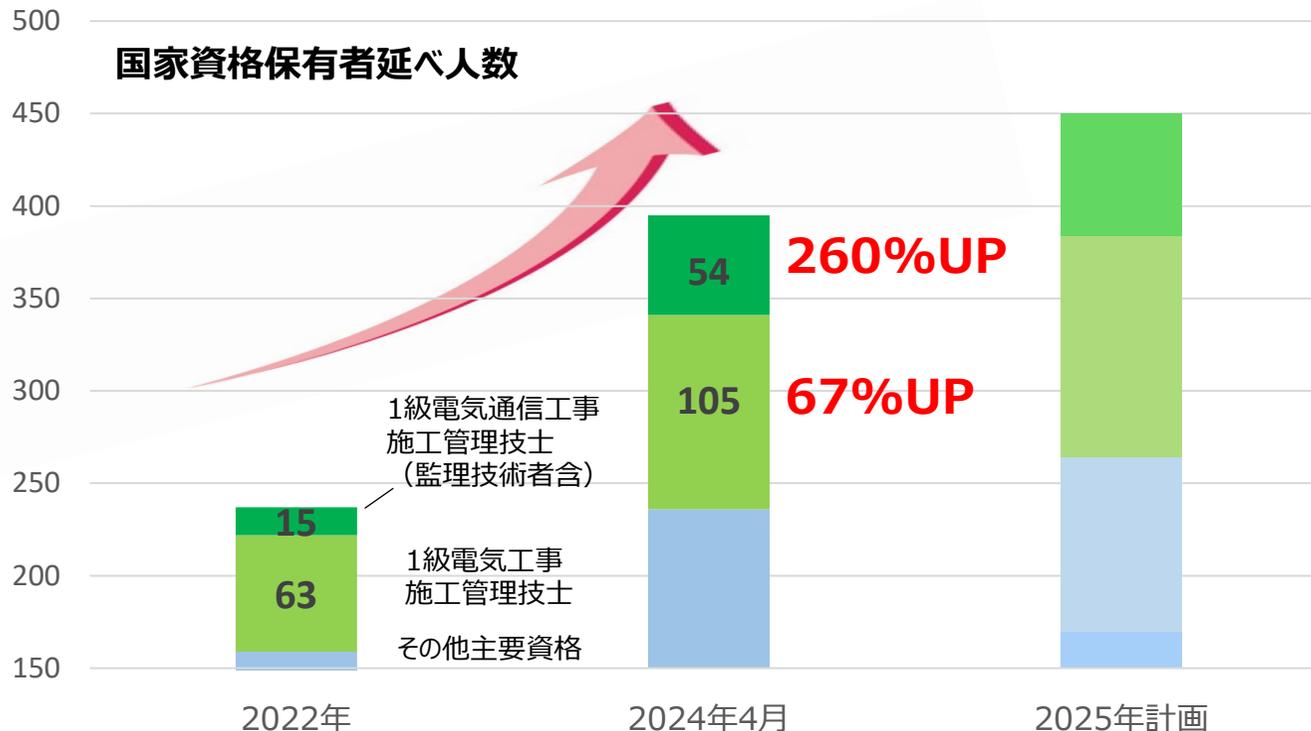
※ZEB: 建物で消費する年間の一次エネルギーの収支ゼロを目指した建物

2. サステナビリティ活動 ~人材育成~

⑤ JESCOアカデミーによる資格保有者拡大

クラウド動画配信により、いつでもどこでも受講可能

有資格者 60%増へ
& AI・DX人材のリスキリング



安心して暮らしてゆける豊かな社会

を創造する為に

Challenge & Innovation

を目指します。



本資料はJESCOホールディングス株式会社（以下、当社）の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また、経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

JESCOホールディングス株式会社 戦略企画本部 企画部 IR課

TEL : 03-5315-0335 E-mail : jesco-ir@jesco.co.jp

URL: <https://www.jesco.co.jp>